

| | | | | |
|---------------|--|--|-----------|---|
| 授業科目名 | 社会福祉 I | | 担当教員名 | 入江 実 |
| 必修/選択 | 必修 (保育士資格/社会福祉主事任用資格) | | 開講学年・学期 | 3年 後期 (年間開講数 1講座) |
| 科目区分 | 保育に関する科目 | | 単位数 | 2単位 (30時間) |
| 施行規則に定める科目区分等 | 保育の本質・目的の理解に関する科目(別表1) | | 授業方法/担当形態 | 講義 / 単独 |
| | | | 特記事項 | ※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。 |
| 授業の到達目標 | (1)現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 (2)社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 (3)社会福祉における相談援助について理解する。 (4)社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。 (5)社会福祉の動向と課題について理解する。 | | | |
| 授業の概要 | 現代社会において社会福祉が果たす役割、また、隣接する諸科学の成果を福祉に活用することの意味についても触れながら、実践が身近な課題であることを理解させる。そして、現代の生活は過去の人々の汗の結晶であり、その生き様を学習させるとともに、未来の生活のすべを見定めていきたい。そして、社会福祉が実践的な学問であると同時に他の科学的な専門領域を生活援助のための有効な社会資源として活用し、コーディネートしていく意味を理解してもらおう。また、生活援助のために有効な社会資源を見つけ活用する創造性を養うことにある。 | | | |
| テキスト | 「新・社会福祉とは何か第3版」一番ヶ瀬康子編著 (ミネルヴァ書房) | | | |
| 参考書・参考資料等 | 指定せず | | | |
| 成績評価の方法 | ○授業への参加意欲：20% ○レポート：25% ○定期試験：55% | | | |
| 授業計画 | 授業の内容 | | | 到達目標番号 |
| 第1回 | 講義の進め方 | | | |
| 第2回 | 第一部 社会福祉とは何か (1) 1. 社会福祉とは何か (教科書 P. 2~14) | | | (1) |
| 第3回 | 第一部 社会福祉とは何か (2) 1. 社会福祉とは何か (教科書 P. 2~14) | | | (1) |
| 第4回 | 第一部 社会福祉とは何か (3) 1. 社会福祉とは何か (教科書 P. 2~14) | | | (1) |
| 第5回 | 社会福祉の歴史 ヨーロッパの場合、わが国の場合 | | | (1) |
| 第6回 | 第二部 現代生活と社会福祉 (1) 4. 貧困問題と生活保護 (教科書 P. 48~65) | | | (2),(3) |
| 第7回 | 第二部 現代生活と社会福祉 (2) 4. 貧困問題と生活保護 (教科書 P. 48~65) | | | (2),(3) |
| 第8回 | 第二部 現代生活と社会福祉 (3) 4. 貧困問題と生活保護 (教科書 P. 48~65) | | | (2),(3) |
| 第9回 | 第二部 現代生活と社会福祉 (4) 5. 現代社会と福祉需要 (教科書 P. 66~80) | | | (3),(4) |
| 第10回 | 第二部 現代生活と社会福祉 (5) 5. 現代社会と福祉需要 (教科書 P. 66~80) | | | (3),(4) |
| 第11回 | 新聞記事を教材とした学習 | | | |
| 第12回 | 第三部 社会福祉の実際と問題点 (1) 8. 高齢者福祉 I (教科書 P.150~170) | | | (5) |
| 第13回 | 第三部 社会福祉の実際と問題点 (2) 8. 高齢者福祉 I (教科書 P.150~170) | | | (5) |
| 第14回 | 第三部 社会福祉の実際と問題点 (3) 10. 障がい者福祉 I (教科書 P.171~184) | | | (5) |
| 第15回 | 全体のまとめ | | | |
| 定期試験 | 筆記試験 | | | |